

【1】要支援者情報の把握・共有

## 救急医療情報キットを活用した高齢者等の情報把握 ( 鯖江市 )

### 基礎情報

実施地域 鯖江市全域  
実施主体 鯖江市  
所在地 鯖江市西山町13-1  
代表者 市長 牧野 百男



### 要支援者の定義

災害時要援護登録者のうち一人暮らし高齢者、二人暮らし以上高齢者世帯、障害者世帯、その他必要と認められる者

### 事業の概要

- ・民生委員が、配布対象となる要支援者宅を訪問し、救急医療情報キットの使い方を説明。
- ・訪問時に、家族状況や日常生活の状況を調査し、困り事などがないか聞き取りをする。また、必要に応じて、災害時要援護者台帳の登録推進、登録内容の確認を行う。
- ・かかりつけ医や服薬情報、緊急連絡先等を記載した情報シートと、保険証の写しなどを専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、万が一の緊急時に備える。
- ・救急医療情報キットの活用方法、配布対象者について消防署し説明。

### 情報の共有者

- ・市長寿福祉課
- ・地域包括支援センター
- ・民生委員

### 情報の共有方法

救急医療情報キット配布者について、高齢者データ統合管理システムに登録。

民生委員からの聞き取り情報から、継続して対応の必要な高齢者について面接や電話等で情報を共有。

### 事業の実績、成果

キット配布数：3,354個（H23.12～H25.2月に配布）  
救急搬送時の活用件数：8件（H24.1～H26.2月）

救急搬送時に、迅速な処置を行うことができた。

### 工夫した点

情報が古いと適切な処置を受けることができなくなることをきちんと保管者に説明し、内容に変更があった場合は、その都度書き換えておくよう説明している。

### 事業の財源

キット購入分は、平成23年度の県補助金を活用（地域支え合い体制づくり事業）。その後、新たに購入する分については、市の一般財源で対応していく。

### 課題

冷蔵庫がなかったり、配布したキットが、冷蔵庫に保管されていない場合がある。

### 今後の目標

引き続き、新に対象となる人にキットを配布していく。  
キットの配布や管理を通して、見守り活動の強化、孤立防止につなげていく。